



2025 年 10 月 29 日

各 位

会社名 L i n k - U グ ル ー プ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役グループ CEO 松原 裕樹
(コード番号：4446)
問合せ先 取締役グループ管理統括 藤田 貴弘
(お問い合わせ先：ir@link-u.group)

上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）について

当社は、2025 年 7 月 31 日（基準日）時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

1. 当社の上場維持基準への適合状況、計画期間及び改善期間

当社の 2025 年 7 月 31 日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額基準及び 1 日平均売買代金基準については基準に適合しておりません。現在改善期間に入っております。当社は今回不適合となった流通株式時価総額基準及び 1 日平均売買代金基準を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。なお、流通株式時価総額基準及び 1 日平均売買代金基準について、2026 年 7 月 31 日までの改善期間内に適合していることが確認できなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後、当社が提出する 2026 年 7 月 31 日時点の分布状況表に基づく東京証券取引所の審査の結果、流通株式時価総額基準及び 1 日平均売買代金基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は 2027 年 2 月 1 日に上場廃止となる可能性があります。

当社は、プライム市場における上場維持を重要な経営課題の一つと捉え、各種取組みを進めております。しかしながら、今後の事業環境の変化等により、プライム市場の上場維持基準への適合が困難となる可能性が高まった場合には、スタンダード市場への市場区分の変更も選択肢の一つとして検討してまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	1 日平均 売買代金※ 2
当社の 状況 ※ 1	2024 年 7 月末時点	3,599 人	49,554 単位	30.0 億円	34.9%	0.61 億円 (2023 年 1 月～12 月)
	2025 年 7 月末時点	3,422 人	53,500 単位	19.2 億円	37.7%	0.13 億円 (2024 年 1 月～12 月)
上場維持基準		800 人	20,000 単位	100 億円	35.0%	0.2 億円
適合状況		適合	適合	不適合	適合	不適合
計画期間（改善期間）		—	—	2026 年 7 月末	—	2025 年 12 月末

※ 1 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日（2025 年 7 月 31 日）時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※ 2 当社の試算によれば、2025 年 1 月～12 月期においては、上場維持基準に適合する見込みです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は、上場維持基準に適合するため、収益力向上と IR 強化等によるコーポレートガバナンスの充実により企業価値を向上することを基本方針としております。これらの取組みを通じて、流通株式時価総額及び1日平均売買代金の向上を図ってまいります。

(2) 課題及び取組内容

①流通株式時価総額について

a. 収益力向上

(1) マンガサービス事業の取組み

国内向けマンガサービスについては、引続き出版社と連携し、サービス展開を強化してまいります。国内で展開する各サービスにおいて、収益基盤の拡大を目指し、コンテンツの強化や定期購読の推進などに取り組むほか、株式会社ビューンが運営する総合書店系マンガ読み放題サービス「ブック放題」の収益力向上にも注力します。また、フリーミアムやサブスクリプション、またはその混合モデルを運用し、消費者の動向を見極めながら、最も適切な収益モデルの運用に注力することで、さらなる収益の積み上げを図ってまいります。

海外向けマンガサービスについては、日本が誇るコンテンツの北米での展開を開始いたしました。将来的には提供地域の拡大を目指し、Comikey Media Inc.などの関係会社を含むグループ全体のアセットを最大限に活用し、ローカライズや新規市場への拡張に取り組んでまいります。さらに、デジタルを起点としたファン創出を基盤に、紙出版、グッズ流通、グローバル発の IP 創出といったデジタルサービスの枠を超えた IP コンテンツ体験を提供することで、ビジネス領域の拡大にも取り組みます。

(2) マーケティング事業の取組み

マーケティングビジネスにおいては、市場の多様化が進んでおり、海外進出を目指す当社グループとして、様々なノウハウを迅速に獲得し、グループ事業全体のマーケティングを確実に推進していくことが重要であると認識しております。並行して、グループ内だけでなく、外部からも収益を積み上げ、再投資していきます。当社グループのレガシーであるマンガサービスを支えてきた Web マーケティングと新たなファン共創型マーケティングをターゲットに合わせて適切に使い分け、取扱高の増加を通じて、マーケティング部門としての成長を目指します。ライフサイクルマーケティングについては、自社プロダクトである「ゆれしる」の機能拡充により、引き続き収益拡大を目指すほか、当社の技術を活用した広告ブロックアプリ「くまもり」を販売し、「ゆれしる」で開拓した販売チャネルにてプロモーションを行うことで、ストック収益のさらなる拡大を図ります。

(3) 制作事業の取組み

オリジナルヒット作の創出を徹底することで、競争優位性を確立し、書店との連携を深めてまいります。オリジナル作品の展開を積極的に行い、ヒット作を生み出し、収益の拡大を目指します。さらに、制作した作品は海外向けマンガサービスでの流通網を活用し、グローバルに流通させられるよう、サービス間での好循環を目指してまいります。

システム開発案件については、出版社だけでなく、取次業者や総合書店などマンガ業界から幅広く受注を行うとともに、AI を全面的に活用した開発手法を導入し、開発プロセスの効率化と高度化を目指してまいります。

(4) M&A の活用

2025 年7月期においては、株式会社 Romanz や株式会社ビューンへの追加出資を実施いたしました。引続き企業価値の向上に資する戦略的アライアンスを推進し、グループシナジーの創出に取り組んでまいります。

b. コーポレートガバナンスの充実

株式市場で適正な評価を得るため、コーポレートガバナンスの充実に注力いたします。人財および業務効率化に資する DX 推進のための投資を行い、組織拡大に合わせた体制構築に取り組めます。

IR 活動については、SNS や自社 HP などの情報発信ツールを活用し、IR 情報を積極的に発信するとともに、開示資料における内容の充実および視認性の向上にも取り組んでまいります。



② 1 日平均売買代金について

「①流通株式時価総額について」に記載のとおりです。なお、当社の試算によれば、2025 年 1 月～12 月期においては、上場維持基準に適合する見込みです。

3. スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

2025 年 3 月末時点において、当社試算ではスタンダード市場の上場維持基準（株主数・流通株式数・流通株式時価総額・流通株式比率）のすべてを充足しており、あわせて申請に必要とされる利益基準（経常利益 1 億円以上）についても達成しております。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
2025 年 7 月末時点	3,422 人	53,500 単位	19.2 億円	37.7%
上場維持基準	400 人	2,000 単位	10 億円	25.0%
適合状況	適合	適合	適合	適合

※ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日（2025 年 7 月 31 日）時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

以上